

感震式ラックシャッター

(IRS-1200A/1240A/1500A/1540A/1800A/1840A)

取扱説明書

このたびは、お買い上げいただきまして誠にありがとうございます。この「取扱説明書」は、感震式シャッターを安全に正しくご使用いただくためのものです。ご使用前に必ずお読みください。また、ご使用中もお手元に置いてご活用いただき、大切に保管してください。

安全上のご注意

製品は安全に十分配慮して設計されておりますが、誤った取り扱いをすると人が障害を負うことがあります。事故防止のため下記を必ずお守りください。

安全上のご注意の 注意事項を守る

「安全上のご注意」の注意事項を必ずお読みください。

定期的に点検する

ご使用前に、シャッターの巻き取り部や取り付け部、ロックレバー動作部などに、ゆがみ・ゆるみ・破損や亀裂等がないことを確認してください。点検は1年に1度行ってください。

故障したら使用しない

動作がおかしくなったり製品の破損に気がいたら、すぐに使用を中止して販売店に修理をご依頼ください。

警告

下記の注意を守らずに誤った取り扱いをすると
人が障害を負う恐れがあります。

分解禁止

分解・改造しない



正常に作動しなくなるだけでなく、部品が飛び出し大けがの原因になります。

禁止

シャッターにぶら下がらない



シャッターにぶら下がったり、物を掛けしないでください。落下して大けがの原因になります。

注意

ただしく取り付ける



このマニュアルにそってただしく取付けをしてください。きちんと取りついていないと地震の際に機能しなかったり、不意にシャッターが下りてしまったりしてしまいます。

使用時のご注意

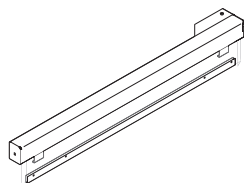
- ・シャッターを上げる時は、必ずウエイトバーの中心を持ち、ゆっくりと引き上げてください。
- ・ラック棚の収納物が飛び出ていると正常に動作しません。収納物はシャッターに干渉しない位置に収めてください。

免責事項

- ・災害時の作動を保証するものではありません。
- ・収納物の落下、破損を防ぐことを保証するものではありません。
- ・ラック棚の背面、側面は、必要に応じて個別の落下防止対策が必要です。
- ・ラック棚の転倒を防止するものではありません。棚本体の転倒防止対策をあわせて実施してください。
- ・地震時の揺れ方により全閉時間は前後します。

内容物

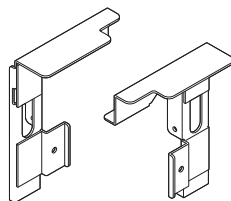
開梱時に必ず内容をご確認ください。



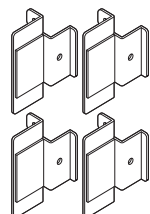
本体 1台
(感震装置、シャッター含む)



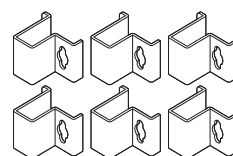
レール 2本
(L、R各1本)



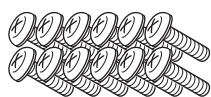
取付金具A 2個
(L、R各1個)



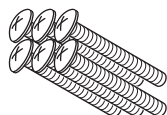
取付金具B 4個



クランプ 6個



ビスA
M5×10L
12本



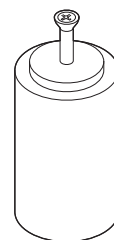
ビスB
M5×20L
6本



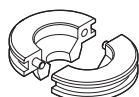
ビスC
M4×8L P=3
4本



ビスD
M6×15L
2本



重り 1個



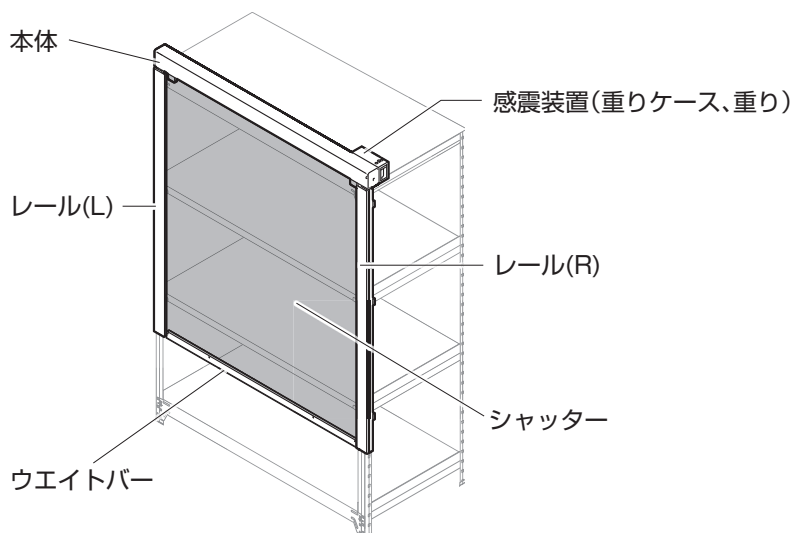
重りストッパー
1セット



Oリング

本書(取扱説明書)
・保証書

全体図



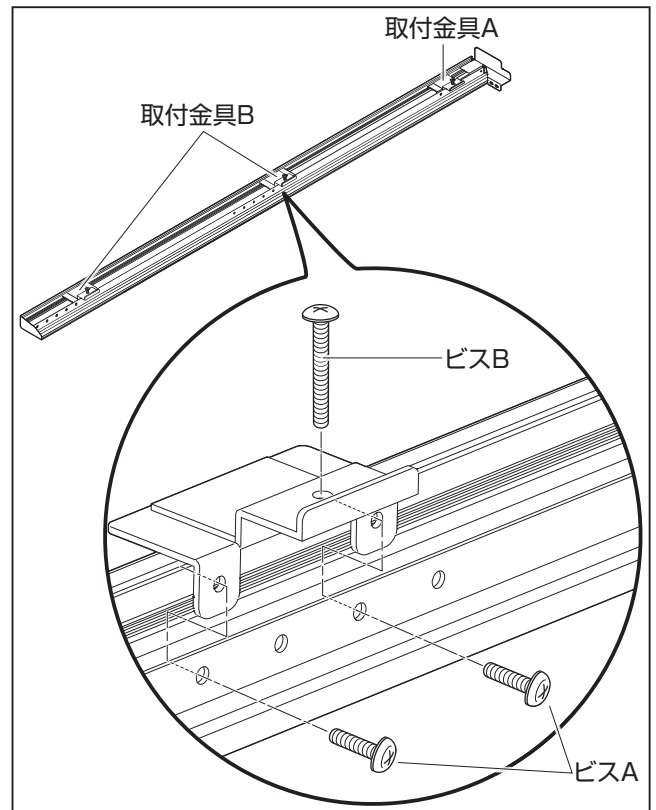
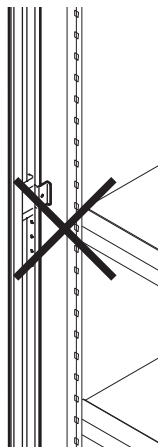
取付手順

1. 取付金具 A/B を取り付ける。

1. レールに取付金具A(1個)とB(2個)をビスA(各2本)で取り付けます(各レール3カ所)。
2. 取付金具A・BにビスB(各1本)を取り付けます。ビスBは、半分程度締め、仮留めします。
3. 左右どちらのレールも同じように作業します。

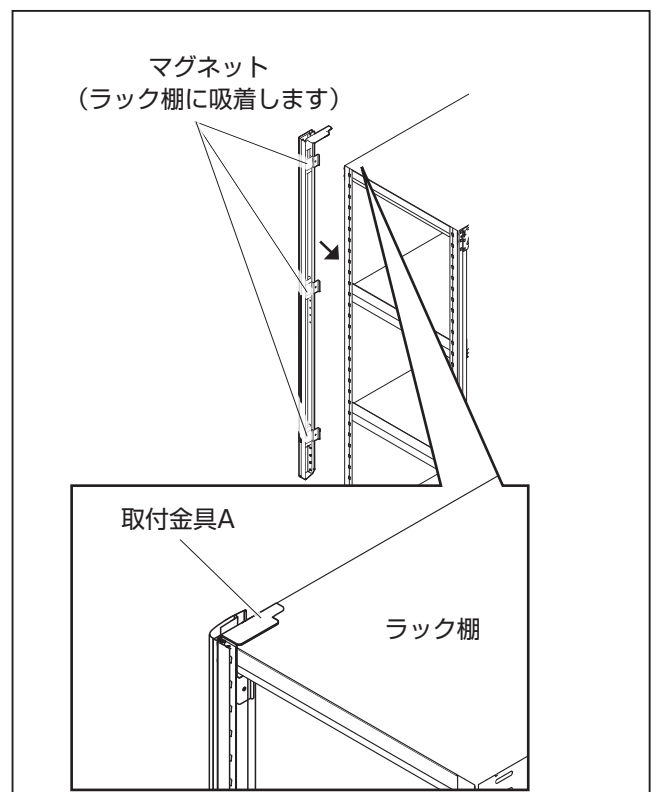
⚠ 注意

- 取付金具Bは、ラック棚の棚板に干渉しない位置に取り付けてください。



2. レールを取り付ける

1. レールをラック棚に取り付けます。
 - ・ 取付金具A、Bのマグネットがラック棚に吸着します。ビスで留める前に位置を調整してください。
2. L型の取付金具Aとラック棚の間に隙間がないよう取り付けます。

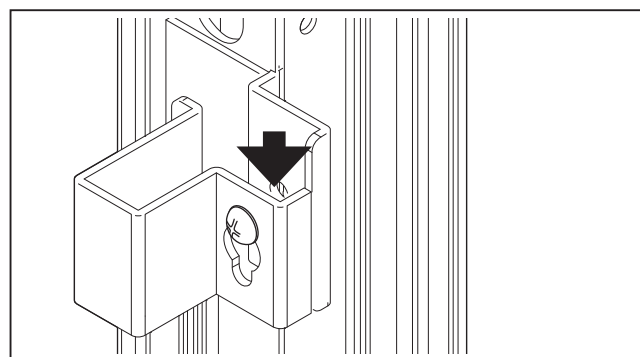
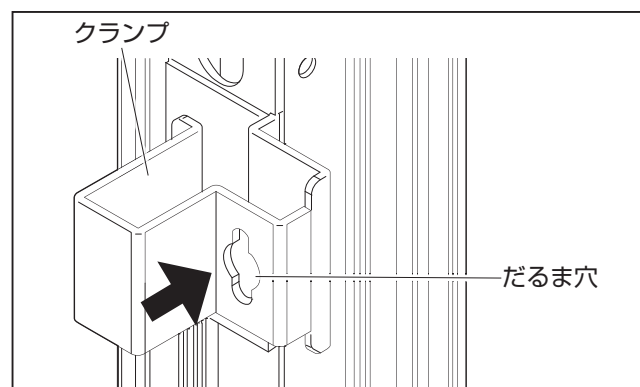


3. クランプを取り付ける

1. レールに取り付けた取付金具A(2個)、B(4個)それぞれにクランプを取り付けます(左右計6カ所)。
2. 手順1で取り付けたビスBの頭をクランプの
だるま穴に通し、引っかかっていることを確認
してから、ビスBの頭が抜けないように、ビスB
を締めて固定します。

⚠ 注意

- クランプは、左右のレールで共通の部品ですが、取り付ける向きが180° 変わります。
- 手順2、手順3は、続けて作業してください。磁石が外れる場合があるため、片方のレールの作業を終えてから、もう一方のレールの作業をしてください。

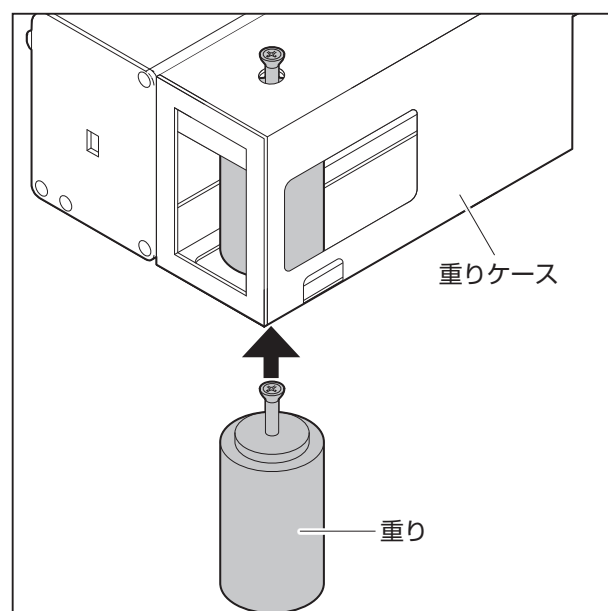


4. 重りを取り付ける

⚠ 注意

- 重りの設置作業は、2人で行うことを推奨します。
- 安定した場所で作業してください。

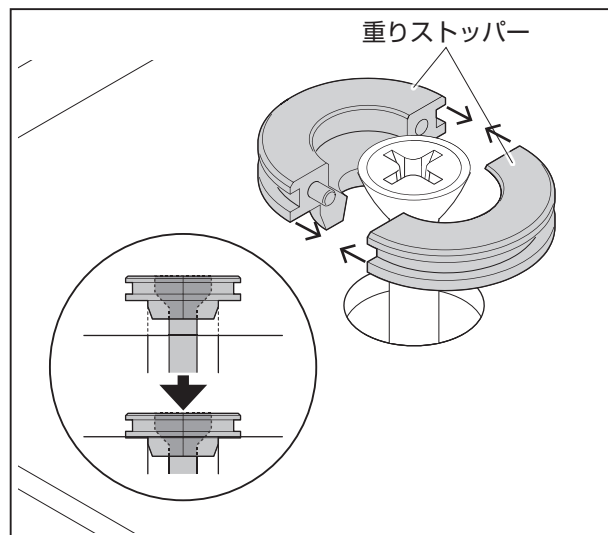
1. 緩衝材などを利用してシャッター本体を浮かせて、重りケースの下部に作業できる空間を作ります。
2. 1人が重りを重りケースの下から挿入します。
 - ・ 重りケース上部の穴から重りの先端を出し、重りを下から支えます。



3. もう1人が重りの先端に重りストッパーを取り付け、重りケースの穴に差し込みます。

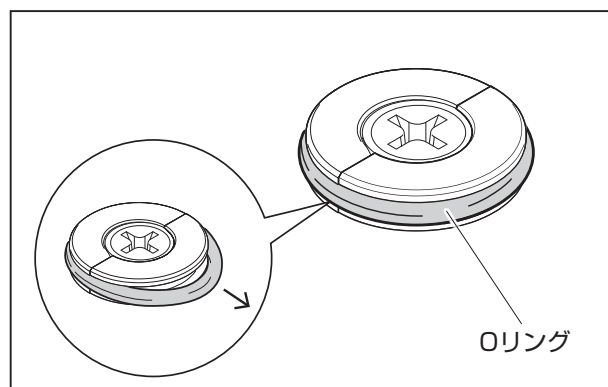
⚠ 注意

- 重りストッパーが図の位置までしっかりと重りケースの穴にはまっていることを確認してください。



4. 重りストッパーにOリングを取り付けます。

- Oリングを少し広げて重りストッパーの溝に取り付けます。



5. シャッター本体を取り付ける

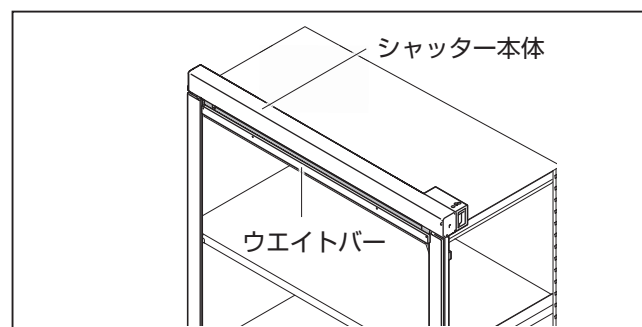
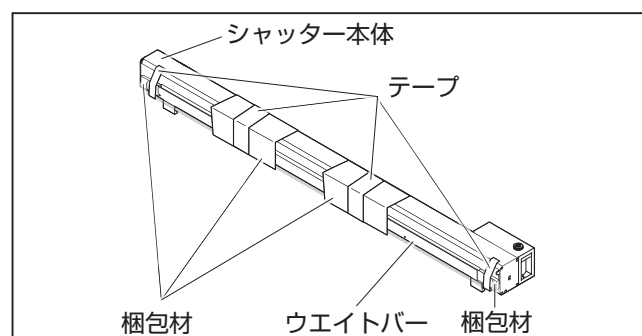
⚠ 注意

- シャッター本体の設置作業は、2人で行うことを推奨します。作業の必要に応じて脚立や台を用意してください。

1. ウェイトバーを支えながらシャッター本体をラック棚に載せます。

⚠ 注意

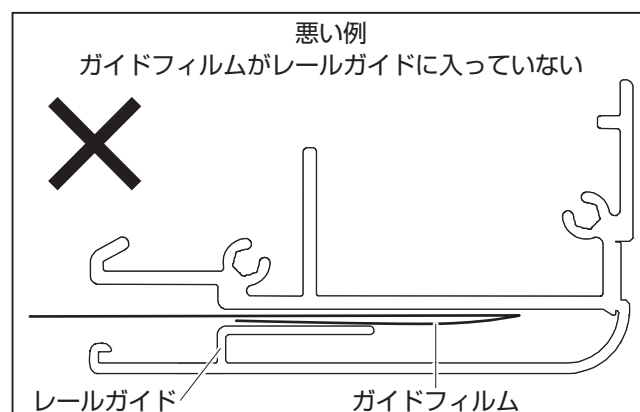
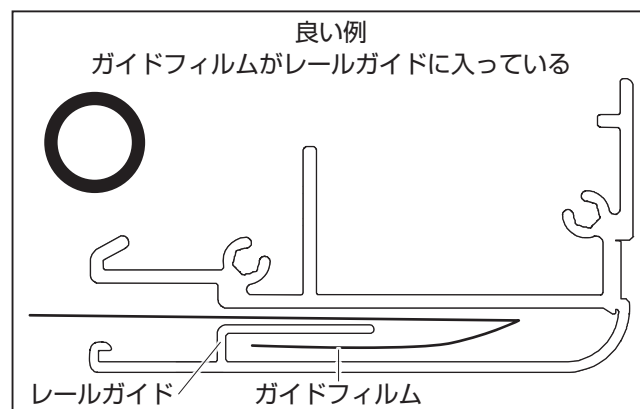
- テープを剥がし梱包材を取り外すと、シャッターが勢いよく降る場合があります。この後の作業でレールに通すためシャッターは巻き取られた状態を維持してください。



2. レールガイドにシャッターのサイドのガイドフィルムが入るように慎重に取り付けます。

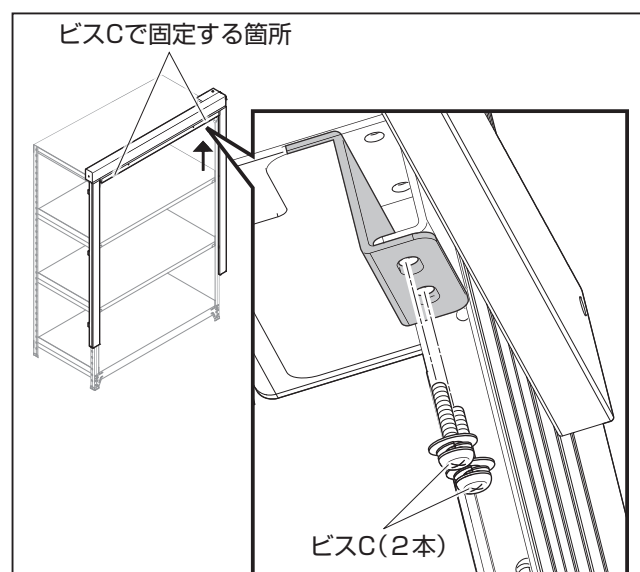
⚠ 注意

- 左右のレールで同時に作業する必要があります。
- ガイドフィルムがレールガイドに正しく挿入されていない場合、正常に動作しません。

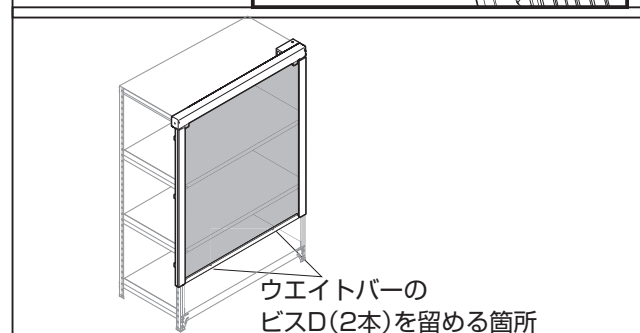


6. シャッター本体とレールを固定しストッパーを取り付ける

1. シャッター本体と取付金具Aを左右それぞれでビスC(各2本)で固定します。



2. シャッターを下げて、ウエイトバー2カ所にビスD(各1本)を取り付けます。

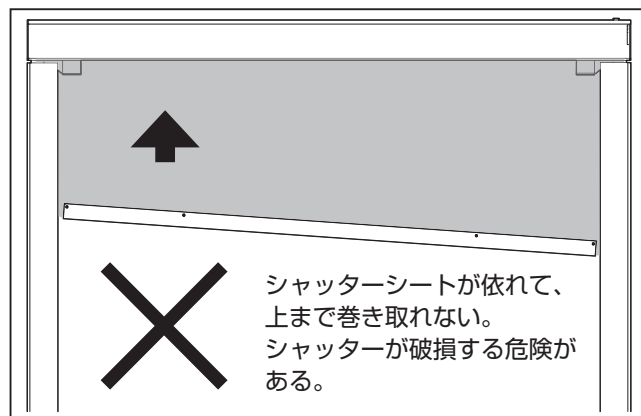
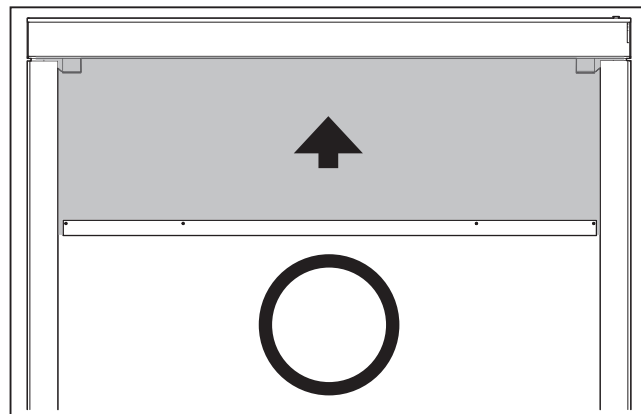


7. シャッターをロックする

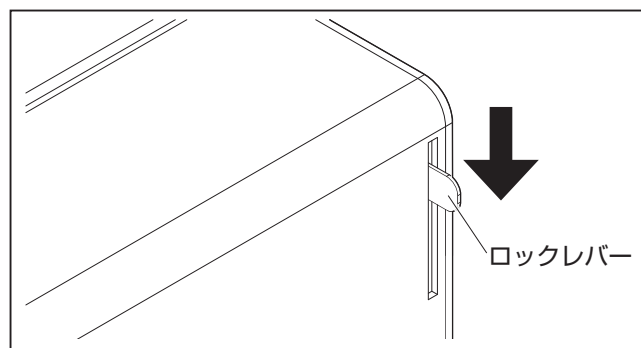
1. なるべくウエイトバーの真ん中を持ち、シャッターを上まで引き上げます。

⚠ 注意

- シャッターの左右の巻き取りに差がでないようにしてください。



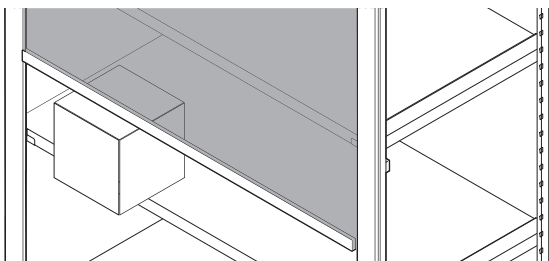
2. 本体のロックレバーを下げて、シャッターが固定されることを確認してください。



8. 重りを動かして動作確認する

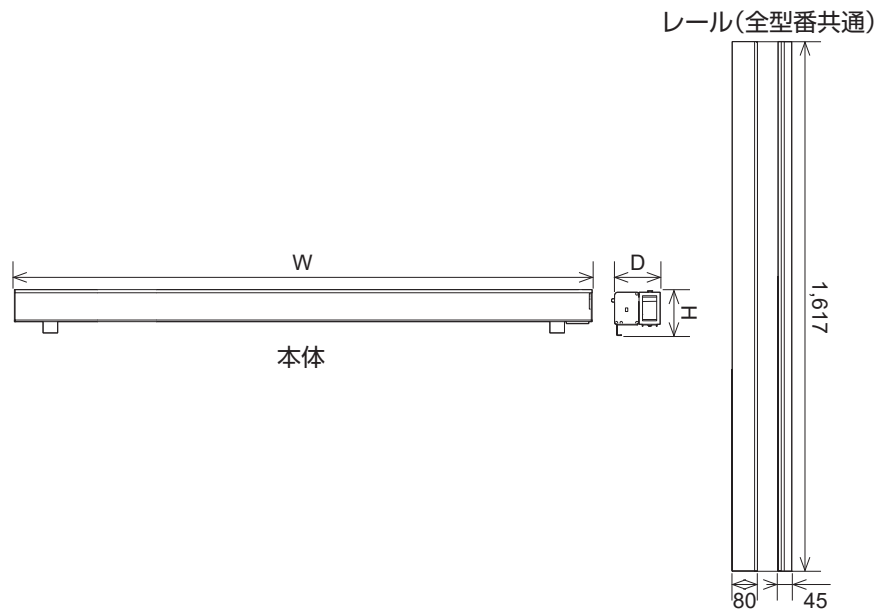
⚠ 注意

- ラック棚から収納物が飛び出していないことを確認し作業してください。



1. 重りに指で触れ、振り子のように揺れることで
ロックが外れてシャッターが閉じることを確
認します。
2. シャッターが一番下まで下がるかを確認し
ます。
3. 確認できたら、なるべくウエイトバーの真ん
中を持ち、シャッターを上まで引き上げてロッ
クします。

基本仕様



型番		IRS-1200A	IRS-1240A	IRS-1500A	IRS-1540A	IRS-1800A	IRS-1840A
本体サイズ	W(mm)	1,215	1,255	1,515	1,555	1,815	1,855
	H(mm)	130					
	D(mm)	145					
レールサイズ(mm)		W80×H1,617×D45					
重量(kg)		12.5	12.8	13.7	14.0	14.6	14.9

販売元・問い合わせ先

泉株式会社
 〒 141-0021
 東京都品川区上大崎 3 丁目 1 番 1 号
 JR 東急目黒ビル
 TEL : (03) 5719-7482
 <https://izumi.inc/safety/>